

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-43	中学校	外国語	英語	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	728 英語 828 928	SUNSHINE ENGLISH COURSE		

1. 編修の趣旨及び留意点

○編修の趣旨

平成28年度用英語科教科書の編修においては、教育基本法における教育の目的及び教育の目標を全体の枠組みとし、義務教育の目的である「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基礎的な資質を養う」（第5条）ことを基本とし、学校教育法が義務教育の目標として掲げるもののうち、「自主、自立及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」「生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養う」「伝統と文化を尊重し、それらをはくぐんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」を編修方針の核として各題材を配置した。

具体的な各題材内容の排列と構成については、学習指導要領・外国語の目標に準拠した学習目標や学習の具体的な内容、培うべき資質や能力を紙面に明示することによって、英語科の目標を教授者と学習者が共有して学習が進められるように配慮した。また、目標を持った学習活動とコミュニケーション活動の提示とふり返りを示すことで自律的な学習者の育成を促すこととした。

○編修の留意点

(1) 生徒の学習到達目標を明示する。

英語の学習に意欲的に取り組み、生徒が自ら学び、英語でコミュニケーションしようとする姿勢を育てるために、到達目標の一つとして My Project を各学年に3か所設置し、日常の学習がこの到達目標を達成するためであることを明示した。

(2) 学ぶプロセスを大切に紙面構成とする。

教授法のもっとも基本となる PPP (Presentation, Practice, Production) の順に教材を配置し、学習者に学習の流れがわかるようにした。

(3) 心を揺さぶる題材で豊かな感性を育む。

題材を通じて生徒の身近な日常生活を英語で表現できる能力を育成すると同時に、話題を我が国と諸外国に幅広く求めて、より広い視野と公正な観点からのものの見方を養うとともに環境保全や勤労の尊さ、平和や人権の大切さに気付くことができるようにした。また、学年が上がるに従い、我が国のことについて知っ

たり述べたりする題材や活動を増やすように構成し、日本人であることの自覚と誇りを感じられるようにした。これらにより学校教育法の求める態度を養うことが実現できるように配慮した。

(4) 自律的学習者を育成する。

学習者は教えられるだけの存在として位置づけるのではなく、自ら学び、真理を探究しようとする存在でなければならないという観点から、全体を通じて、自主的な取り組みを促す設定を取り入れた。学級内でのペアワーク、グループ活動を大幅に取り入れ、また「教え合い、学び合い、高め合う」協働学習の観点を加え、これらを通じてよりよい社会の参画者としての自覚を育成できるように留意した。

(5) 小学校外国語活動との円滑な接続、及び高等学校英語科への発展を配慮する。

現在行われている小学校外国語活動での成果を1年の冒頭の数時間で検証するとともに、中学校での語学としての英語学習へスムーズに移行できるように特に1年では小学校外国語活動の内容を念頭に置いた文法シラバスを構成した。また大半の生徒が高等学校に進学する実情に配慮し、高等学校での「英語の授業は英語で」へのつなぎとして、3年ではReadingの課のQ and Aはすべて英語とするなど、生徒が英語を使う局面が増加するように配慮した。

(6) 基礎的な学習項目や理解すべき項目などを明示する。

基礎・基本を重視し、より効率のよい学習の展開を可能にするために、基礎的な学習項目をセクションの冒頭にBasic Dialogとして表示し、どの学習者でも習得すべき最低限の到達目標とした。

2. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法の精神を教材の中で具体化するとともに、学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーション活動ができる能力の基礎を養う。また「世界の中の日本人」としての広い視野と豊かな見識を持った個人を育成し、よりよい社会の形成、発展に寄与できる人格を育成するための題材を提示する。そのために以下の基本方針を設定した。

(1) 3年間を見通した学習目標を設定し、それに向かって学習する構成にする。

中学校の卒業時点で身に付けておきたいコミュニケーション能力を設定し、それから逆算して各学年、各学期を目安に、「こういうことができるようになる」という具体的な目標をMy Projectとして設定し、学習者が各課、各セクションを学習する目的と見通しを把握できるようにするとともに、何を評価されるかまで明示し、教授者とこれを共有することにより、同じ到達目標に向かって授業が進められるようにした。

(2) 学習・教授のプロセスが見える構成にする。

本文各セクションを教授法の基本形であるPPPを前提として紙面を構成し、学習者が何を学び、何ができるようになるかがわかるようにした。同時に学習指導要領に示された、4技能の総合的な育成を図るために、見開き2ページの中に「聞く」「話す」[読む]「書く」の技能を育成するための教材を配置するとともに、セクションの冒頭にはBasic Dialogとして対話形式で基本的な文型・文法事項を提示し、何を学び、何ができるようになるのかを明示した。

(3) 小学校外国語活動の成果を生かし、中学校英語にスムーズに移行できる構成とする。

中学校学習指導要領・外国語の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されているように、小学校で行われている外国語（英語）活動との円滑な接続ができることに意を用いた。

具体的には、第1学年導入部（Let's Start）を、小学校外国語活動での成果を検証、確認し、語学としての中学校英語科の学習にどうつなげていくかを計画するためのページとして位置づけた。小学校外国語活動で

は「読む」「書く」活動を学習としては行わないことを前提として、音声から文字への導入を重視し第1課をアルファベットの提示とした。また、小学校外国語活動で音声によって養われたコミュニケーション能力の素地を生かすために、第1学年1学期の言語材料の大半を一人称、二人称による提示として、音声から文字への円滑な移行を図った。

(4) 生徒の興味・関心を高め、我が国及び外国に関する知識・理解を深め、豊かな心情を育成する題材を提示する。

題材は生徒の身近な日常生活を中心にしながらも、学年が上がるにつれて社会的な問題や課題、すなわち環境、人権などに関する話題をより深く探究できるように提示するとともに、話題を広く世界各地に求め、日本と外国の文化などとの相互理解を図ることができるようにし、広い視野と豊かな感性を持った個人を育成するとともに、国際社会で通用する人材を育成することを目指した。

(5) 生徒の主体的な学習活動を促す協働学習

コミュニケーション能力を育成するためには、学習者が受け身的に学習をするのではなく、学習者自らが課題(task)を解決しようとする態度が重要であるが、外国語学習においては学習者個人だけでは解決ができない課題もあり、ペア学習やグループ活動を取り入れる中で、生徒同士での「教え合い、学び合い、高め合う」協働学習の活動を取り入れた。

3. 対照表 1～3年

本教科書は全巻にわたって教育基本法、学校教育法の精神に則って編修したが、以下に特に教育基本法第2条(教育の目標)に典型的に対応する部分を示す。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ番号)
全学年の 題材の排列・構成	題材の提示において、幅広い知識と教養を身に付けられるように、広く世界各地の風物、文化、言語などに関する理解ができることを目指した(第1号)。	全巻
1年 Let's Start	小学校外国語活動で学習した内容を復習することを通じて、自分のことを英語で表現し、英語で自己表現できる喜びを得ることによって自己肯定感を養い、同時に他者の表現を尊重する態度を養う(第2号)。	1年 p.6～p.13
全学年 My Project	学習した言語材料などを使い、自己紹介(1年)や、対話を促進する技術を学んだり(2年)、日本文化を紹介したりする(3年)など、個々人のコミュニケーション能力を伸ばし、創造性を培うようにした(第2号)。またこの中で原稿を検討し合うなどの協働学習を取り入れて、責任感と協力を重んじる態度を養うようにした(第3号)。	1年 p.44ほか
全学年 Basic Dialog	学習指導要領に示された文型・文法事項をコミュニケーション活動を通じて習得させるために、文法構造による提示ではなく対話文で提示し、文型・文法事項を知識にとどめず、実際に使える形で提示した。これにより、生徒は英語を単に学ぶだけのものではなく、実生活のコミュニケーションに使える道具として、実感を持って学習に向かえるので、幅広い知識と基礎的な教養を身に付けることができる(第1号)。	全巻 各課のセクション冒頭囲み

1年 Program 4 「リサイクル活動」	古紙やビンがリサイクルされ途上国の子どもたちを救うことになることを知り、自分たちも何かできることをしようという対話文を読み、日常生活の中から自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う（第4号）。	p.38～p.43
1年 Program 8 <i>Origami</i>	日本の折り紙文化を通じて外国人との心の交流ができることを伝え、小さなことからでもお互いをわかり合えることを知ることで豊かな情操を養う（第1号）。	p.78～p.83
2年 Program 3 What Can We Do for Others?	Walk the World という歩くことによるチャリティー活動の紹介文を読み、途上国の実情の一端を知るとともに、自らが行動を起こす必要性を喚起することによって、主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養う（第3号）。	p.26～p.31
2年 Program 4 <i>Eigo Rakugo</i>	日本の伝統文化である落語を英語で読み、課題として演じてみることを通して伝統と文化を尊重する態度を養う（第5号）。	p.40～p.43
2年 Program 6 A Work Experience Program	中学校で行われる職業体験についてスピーチをする題材の学習を通じて職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う（第2号）。	p.52～p.57
2年 Program 7 If You Wish to See a Change	子どものころから環境保護活動を続けてきたカナダ人セヴァン・スズキさんの、途上国の労働の上に成り立つ先進国の実情への訴えを読み、環境保護の大切さへの理解を深める（第4号）とともに、他国を尊重し、国際社会の健全な発展に寄与する態度を養う（第5号）。	p.62～p.67
2年 Program 8 Friendship across Time and Borders	明治時代にトルコ船の遭難者を救助したことが20世紀の終わりになってトルコ航空機によるテヘランでの日本人救出につながり、その後のトルコ地震、東日本大震災での支援と協力につながった実話を読み、人間同士の善意は時間と国境を越えることを知り、国際社会の平和と発展、協力が大事なことを学ばせる（第5号）。	p.76～p.79
2年 Program 9 Video Project	外国からの留学生が母校に送るビデオ番組としてのスピーチの題材では、日本で発達したソフトテニスについて知り、またコーラスコンテストに向けての努力を読む題材を通じて、異なるところはあっても自他の敬愛と尊重、努力と協力の大切さを知らせる（第3号）。	p.80～p.85
2年 Program 10 So Many Countries, So many Cultures.	日本語と英語の違いに起因するコミュニケーションの行き違いに関する対話を読み、それぞれの言語の背景にはそれぞれの文化があることを知り、自国の文化を知ることと他国の文化を尊重することの両面が大切であることを学ぶ（第5号）。	p.88～p.93
2年 Program 11 <i>Yui—To share Is to Live.</i>	岐阜県白川郷に古くから伝わる共同作業の「結」を知り、社会における個人の責任と協働の大切さを知る（第3号）とともに、豊かな情操を養う（第1号）。また我が国と郷土を愛する心情を育む（第5号）。	p.96～p.101
3年 Program 3 The 5 Rs to Save the Earth	環境保護を語るときにしばしば言われる reduce, reuse, recycle 以外にも refuse, repair があることを知り、環境保護・保全には何が大切かを考える機会とする（第4号）。	p.24～p.29

<p>3年 Program 4 Faithful Elephants</p>	<p>第二次大戦中に上野動物園で飼育中のゾウたちが危険を理由に殺害されたという実話に基づく悲しい物語を読んで、豊かな情操を養う（第1号）とともに、戦争のもたらす悲惨さを知り、平和に寄与する態度を養う（第5号）。</p>	<p>p.38～p.43</p>
<p>3年 Program 6 Let's Talk about Japanese Things.</p>	<p>マンガの起源ともされる『鳥獣人物戯画』，またヨーヨーとけん玉との比較についての文章を読み，物事の説明には似たものを比較対照して述べるのがわかりやすいことを学んだ後，日本のことについて説明する活動を通じて，我が国と郷土を愛するとともに，他国の文化を尊重する態度を養う（第5号）。</p>	<p>p.54～p.59</p>
<p>3年 Program 7 What Is the Most Important Thing to You?</p>	<p>NPO 法人「宇宙船地球号」を主宰する山本敏晴さんは途上国への援助者を養成する傍ら，外国の子どもたちに「いちばん大事なものを描いてもらう「お絵かきプロジェクト」を続け，それぞれの国の子どもたちの実情を訴える地道な活動をしている。この活動の記録を読み，自分には何ができるかを考えさせることを通じて，公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う（第3号）。</p>	<p>p.66～p.71</p>
<p>3年 Program 9 Education First: Malala's Story</p>	<p>女子教育に反対するグループのメンバーに襲われ，銃で頭を撃たれながらも九死に一生を得てなお，教育の大切さを世界に訴えるパキスタンの少女の逸話を読むことを通じて，男女の平等，自他の敬愛を学ぶ（第3号）とともに，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う（第5号）。</p>	<p>p.84～p.89</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

【教育基本法第5条（義務教育の目的）関係】

- (1) 「各個人の有する能力を伸ばし」とあることに鑑み，各個人の個性や特徴を生かすため，全体としては中学終了までに習得すべき到達目標をMy Projectや巻末付録「英語で『できるようになったこと』リスト」で示しつつ，同時に最低限の習得事項をBasic Dialogで示し，学習者の習熟度を考慮した構成とした。
- (2) 「社会において自立的に生きる基礎を培う」ために，日本と諸外国との協力的な関係を感じさせるための題材を重点的に扱い，自己の確立を確かなものにする 것과同時に，他者との関係で自己が成立することも自覚する必要があることが学校教育の中で学習できるようにするために自己評価と協働学習の要素を組み入れた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-43	中学校	外国語	英語	第1～3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
9 開隆堂	728 英語 828 928	SUNSHINE ENGLISH COURSE		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」という学習指導要領外国語科の目標及びそれを踏まえた英語の目標として示された「(1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。(2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。(3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。(4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする」ことを、週4時間体制の中で保障、実現するために、特に以下のような点を工夫して編修し、特色とした。

(1) 編修上特に意を用いた点

- a. 小学校における外国語(英語)活動で育まれたコミュニケーションに対する積極的な態度等の一定の素地を踏まえたうえで、4技能をバランスよく総合的に育成し、統合的に活用することによって、コミュニケーション能力の基礎を培うことを編修上の最大の基本方針とした。
- b. 外国語教授法の基本である PPP (Presentation→Practice→Production) に沿ったわかりやすい紙面構成・レイアウトとし、学習者には学ぶ過程が、教授者には教える手順が見て取れるように工夫した。
- c. 到達目標として、「この教科書で学んでできるようになること」を段階を追って、その手順及び評価の観点とともに明示し、学習者と教授者が同じ目標を持って日々の学習に取り組むことができるよう工夫した。
- d. 教材の選定にあたっては、外国の日常生活や風俗習慣、文化について理解を深め尊重する態度を育成するとともに、我が国の伝統文化を見直し、これを外国に発信していくための基礎的な技能を育成し、豊かな心を育み、国際社会に生きる地球市民の育成に資する題材を、学習者の発達段階及び興味・関心に配慮しつつ変化を持たせる取り上げた。

(2) 特色(全体構成と各課の構成など)

- a. 4技能の総合的な育成を図るために、以下のような項目で全体を構成した。
 - ア. PROGRAM: 4技能を総合的に育成するための通常の課。Readingとして、ある程度まとまった量の読み物教材を計6か所に設けた。
 - イ. POWER-UP Listening / Speaking / Reading (1年のみ) / Writing: それぞれ個別の技能をさらに伸ばすことを意図したシリーズであるが、学習の進行に応じて、複数技能を関連づけた統合的な活動を多く取り入れた。
 - ウ. My Project: 各学年3か所(学期に相当)に具体的な到達目標を設定し、スピーチを中心とした技能の統合的活用を図るよう工夫した。また、発表活動などの際の自己評価の観点も示した。
 - エ. 英語のしくみ: 文法のまとめ。学習事項の理解度・定着度をチェックするためのページを設けた。
 - オ. 協働学習: 教え合い、学び合いながら学習が進められるよう、ペアやグループで行う協働作業・活動を取り入れた。
 - カ. 巻末資料: 補充用読み物(2年及び3年)とコミュニケーション活動を豊かで充実したものとするための豊富な資料を載せた。また、全学年の巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」を付け、定期的に学習状況とその成果をふり返り、チェックできるようにした。
 - キ. 発音クリニック他: 発音と綴り字の関係や英語の音声の特徴を随所に示し、音声への注意を喚起した。
- b. 全体構成と併せて4技能をバランスよく育成できるように、通常の課のセクションを見開きページとし、左ページには、新出事項とミニマムエッセンシャルズとしての基礎的な練習を、右ページには、それをまとめたコンテキスト(本文)の中で示し、理解・定着が図れるように紙面構成を工夫した。
 - ア. Basic Dialog: 新出事項を場面・状況のわかりやすい対話形式で提示した。
 - イ. Listen: 新出事項を聞いて理解するための練習。
 - ウ. Speak: 新出事項の口頭練習。

- エ. Try：新出事項を使ったインタラクティブな表現活動・練習。
 オ. 本文：新出事項を含んだ本文を読んで、その理解・定着を図る。
 カ. Write：新出事項を使って文を書き、自己表現に使えるようにするための練習。
 キ. 新出語句：傍注及び脚注に示した新出語句には、自学自習用のチェックボックスをつけたり重要度に応じてフォントや配列順を変えたりするなど、学習上の便宜を図った。
 ク. 音読マーク：音読の重要性に鑑み、本文各ページに自学自習を促すチェック用のマークを設けた。

上記のように、学習指導要領外国語科（英語）の目標と内容が十分達成できるような構成・内容になるよう特段の工夫をした。

2. 対照表

1年

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Let's Start	第2-2(2)ア(ウ)場面a, イ(ア)	6-13	3
PROGRAM 1	第2-2(1)ウ(ア), エ(ア)／(3)イ(ア) 第2-3(1)オ	14-19	3
アルファベットであそぼう	第2-2(1)ウ(ア), エ(ア)／(3)イ(ア)	20-21	
Classroom English	第2-2(2)ア(ウ)場面b	22	1
辞書を引いてみよう	第2-3(1)カ	23	
PROGRAM 2	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面ab／(3)エ(ア)ab (イ)b(a) (エ)／(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ	24-27	4
POWER-UP① Writing	第2-2(1)ウ(ア), エ(ア)／(3)イ(イ)	28	1
Word Web 1	第2-3(1)オ	29	
PROGRAM 3	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面ab 働きa／(3)エ(ア)bd (イ)b(a) c(a) (エ)／(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ	30-33	4
アクションコーナー	第2-3(1)オ	34	1
Word Web 2	第2-3(1)オ	35	
POWER-UP② Listening	第2-2(1)ア(イ)(オ)／(2)ア(ウ)場面b／(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)e 第2-3(1)ウオ	36-37	1
PROGRAM 4	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ)b, (ウ)働きbd／(3)エ(ア)d (ウ)a／(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ 第3 123	38-43	6
My Project 1	第2-2(1)イ(オ)a／(2)ア(ウ)働きb／(4)イ 第2-3(1)オカキ	44-47	4
POWER-UP③ Reading	第2-2(3)エ(ア)c (イ)c(a) 第2-3(1)オ	48-49	1
PROGRAM 5	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ)b／(3)エ(イ)b(a) (ウ)a／(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ	50-55	6
POWER-UP④ Speaking	第2-2(2)ア(イ), (ウ)場面b／(3)エ(ア)e 第2-3(1)オ	56-57	2
英語のしくみ 1	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)／(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)abd (イ)b(a) c(a) (エ)／(4)アウエ 第2-3(1)ウ	58-59	1
PROGRAM 6	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面a 働きb／(3)エ(イ)a／(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ	60-65	6
Word Web 3	第2-3(1)オ	66-67	1
PROGRAM 7	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)働きc／(3)エ(イ)a (ウ)a／(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ	68-73	6
POWER-UP⑤ Speaking	第2-2(2)ア(ウ)場面b／(3)エ(ア)e (イ)a 第2-3(1)オ	74	2
POWER-UP⑥ Listening	第2-2(1)ア(イ)(オ)／(2)ア(ウ)場面b 第2-3(1)オ	75	1
英語のしくみ 2	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)／(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)bd (イ)a c(a) (ウ)a (エ)／(4)アウエ 第2-3(1)ウ	76-77	1

PROGRAM 8	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ア)(イ)/(3)エ(ア)d/(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ/(2)アイウ 第3 123	78-83	6
POWER-UP⑦ Speaking	第2-2(2)ア(イ), (ウ)場面b/(3)エ(ア)e 第2-3(1)オ	84	2
POWER-UP⑧ Listening	第2-2(1)ア(イ)(オ)/(2)ア(ウ)場面b 第2-3(1)オ	85	1
My Project 2	第2-2(1)イ(オ)/(2)ア(ウ)働きc/(4)イ 第2-3(1)オカキ	86-89	4
PROGRAM 9	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面ab 働きd/(3)エ(エ)/(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ/(2)アイウ 第3 123	90-95	6
POWER-UP⑨ Reading	第2-2(3)エ(ア)a (ウ)a 第2-3(1)オ	96-97	1
英語のしくみ 3	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)d (エ)/(4)アウエ 第2-3(1)ウ	98-99	1
PROGRAM 10	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面a/(3)エ(ウ)a (エ)/(4)アイウ 第2-3(1)イウオキ/(2)アイウ	100-105	6
POWER-UP⑩ Speaking	第2-2(2)ア(イ), (ウ)場面ab 働きd/(3)エ(ア)de 第2-3(1)オ	106-107	2
My Project 3	第2-2(3)エ(ア)de/(4)イ 第2-3(1)オキ	108-113	4
PROGRAM 11	第2-2(1)ア(ア), イ(ア)/(2)ア(ア)(イ)b/(3)エ(エ)/(4)アイウ 第2-3(1)イウオ 第3 123	114-119	5
POWER-UP⑪ Writing	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(ウ)(エ)(オ)/(2)ア(ウ)場面b/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)/(4)ア 第2-3(1)ウオ	120-121	2
英語のしくみ 4	第2-2(1)エ(イ)/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)d (エ)/(4)ウエ	122-125	1
巻末資料③ 英語の書体	第2-2(3)イ(イ) 第2-3(1)エ	130	-
巻末資料⑤ 英語のつづり字と発音	第2-2(3)ア(ア)/(4)ア	132	-
巻末資料⑧ 単語と熟語①	第2-3(1)ウ	141-142	-
巻末資料⑨ 単語と熟語②	第2-3(1)ウ	143-151	-
		計	96

2年

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Classroom English	第2-2(2)ア(ウ)場面b	6	1
辞書を読んでみよう	第2-3(1)カ	7	
PROGRAM 1	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面ab 働きb/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ウ)a (エ)/(4)イウ 第2-3(1)イウオキ/(2)アイウ	8-13	6
POWER-UP① Writing	第2-2(1)エ(エ)(オ) 第2-3(1)ウオ	14-15	2
英語のしくみ 1	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(エ)/(4)ウエ 第2-3(1)ウオ	16-17	1
PROGRAM 2	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面a 働きbde/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ウ)a (エ)/(4)イウ 第2-3(1)イウオキ/(2)アイウ	18-23	6
POWER-UP② Listening & Speaking	第2-2(1)ア(ア)(イ)(オ), イ(ア)(イ)/(2)ア(イ), イ(イ)/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ) 第2-3(1)ウオ	24-25	2
PROGRAM 3	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ア)(イ), (ウ)働きde/(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)a (イ)c(a)/(4)イウ 第2-3(1)イウオキ/(2)アイウ 第3 123	26-31	6
POWER-UP③ Speaking	第2-2(2) ア(イ), (ウ)働きd 場面ab, イ(イ) 第2-3(1)ウオ	32-33	2
My Project 4	第2-2(1)ア(エ), イ(エ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)/(2)ア(ウ)働きa/(4)イ 第2-3(1)ウオキ/(2)アイウ 第3 123	34-37	4

英語のしくみ 2	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)a (イ)c(a) (エ) / (4)ウエ 第2-3(1)ウ	38-39	1
PROGRAM 4	第2-2(1)ウ(イ)(ウ)(エ) 第2-3(1)ウオ	40-43	3
PROGRAM 5	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ), (ウ)働きbce / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)a (イ)f(a) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ	44-49	6
POWER-UP④ Speaking	第2-2(2)ア(イ), (ウ)場面a, イ(イ) 第2-3(1)ウオ	50-51	2
PROGRAM 6	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ), (ウ)場面b / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(イ)c(a) (カ) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ 第3 123	52-57	6
POWER-UP⑤ Listening & Writing	第2-2(1)ア(イ)(ウ) / (2)ア(ウ)場面b 第2-3(1)ウオ	58-59	2
英語のしくみ 3	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ア)a (イ)c(a) f(a) (カ) / (4)ウエ 第2-3(1)ウ	60-61	1
PROGRAM 7	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ) / (3)ア / (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(イ)b(b) c(a) d(a) (キ) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ 第3 123	62-67	6
POWER-UP⑥ Speaking	第2-2(1)ア(エ) / (2)ア(イ), (ウ)場面a, イ(イ) 第2-3(1)ウオ	68-69	2
英語のしくみ 4	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(イ)b(b) d(a) (キ) / (4)ウエ 第2-3(1)ウ	70-71	1
My Project 5	第2-2(1)イ(オ), エ(オ) / (3)エ(イ)b(b) / (4)イ 第2-3(1)ウオキ	72-75	4
PROGRAM 8	第2-2(1)ア(ア), イ(ア)(ウ), ウ(イ)(ウ)(エ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ) 第2-3(1)ウオ / (2)アイウ 第3 123	76-79	4
PROGRAM 9	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ), (ウ)場面b 働き e / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(オ) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ	80-85	6
POWER-UP⑦ Speaking	第2-2(2)ア(イ), (ウ)場面a 第2-3(1)ウオ	86-87	2
PROGRAM 10	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(オ) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ 第3 123	88-93	6
POWER-UP⑧ Writing & Speaking	第2-2(1)イ(イ)(ウ), ウ(オ), エ(ウ)(オ) / (2)ア(イ), (ウ)働きd 第2-3(1)ウオ	94-95	2
PROGRAM 11	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ), (ウ)場面b 働き c / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(ケ) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ 第3 123	96-101	6
POWER-UP⑨ Listening	第2-2(1)ア(イ)(ウ) / (2)ア(ウ)場面a 第2-3(1)ウオ	102-103	1
英語のしくみ 5	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ), エ(オ)(ケ) / (4)ウエ 第2-3(1)ウ	104-105	1
My Project 6	第2-2(1)ア(オ), イ(イ), ウ(ウ), エ(オ) / (2)ア(ア)(イ), (ウ)働きace / (3)エ(オ)(ケ) / (4)イ 第2-3(1)ウオキ	106-107	4
PROGRAM 12	第2-2(1)ア(ア), イ(ア)(ウ), ウ(イ)(ウ)(エ)(オ) / (3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ) 第2-3(1)ウオ / (2)アイウ 第3 123	108-111	4
巻末資料② クイックQ&A	第2-2(1)イ(エ) / (2)ア(ウ)働きe	124-125	-
巻末資料③ 英語の音声	第2-2(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	126	-
巻末資料④ 英語のつづり字と発音	第2-2(3)ア(ア) / (4)ア	127	-
		合計	100

3年

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Classroom English	第2-2(2)ア(ウ)場面b	6	1
辞書を使いこなそう	第2-3(1)カ	7	
PROGRAM 1	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア), イ(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ) / (2)ア(ア)(イ), (ウ)場面b / (3) エ(エ)(ケ) / (4)イウ 第2-3(1)イウオキ / (2)アイウ	8-13	6

POWER-UP① Listening & Speaking	第2-2(1)ア(イ)(オ), イ(ウ)／(2)ア(イ), イ(ウ) 第2-3(1)ウオ	14-15	2
PROGRAM 2	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ)(エ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ)／(3)エ(エ)／(4)イウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ	16-21	6
英語のしくみ 1	第2-2(1)ア(ア), イ(ア)／(3)エ(エ)／(4)ウエ 第2-3(1)ウオ	22-23	1
PROGRAM 3	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ)(エ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ)／(3)エ(イ)c(a) f(b)c／(4)イウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ 第3 123	24-29	6
POWER-UP② Speaking	第2-2(1)イ(オ), エ(ウ)／(2)ア(イ), (ウ)場面a, イ(ウ) 第2-3(1)ウオ	30-31	2
英語のしくみ 2	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)／(3)エ(イ)c(a) d(b) f(b)c／(4)ウエ 第2-3(1)ウ	32-33	1
My Project 7	第2-2(1)イ(オ), ウ(イ)／(2)ア(ウ)働きe／(4)イ 第2-3(1)ウオキ	34-37	4
PROGRAM 4	第2-2(1)ア(ア), イ(ア)(ウ), ウ(イ)(ウ)(オ) 第2-3(1)ウオ／(2)アイウ 第3 123	38-43	5
POWER-UP③ Writing	第2-2(1)イ(ア), エ(オ)／(2)ア(ウ)働きb, イ(ウ) 第2-3(1)ウオ	44-45	2
PROGRAM 5	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面b／(3)エ(イ)c(b) e(a)／(4)イウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ 第3 123	46-51	6
POWER-UP④ Speaking	第2-2(1)ア(エ), イ(オ)／(2)ア(イ), (ウ)場面a, イ(ウ)／(3)エ(イ)d(b) 第2-3(1)ウオ	52-53	2
PROGRAM 6	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)場面b 働きc／(3)エ(ウ)／(4)イウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ 第3 123	54-59	6
英語のしくみ 3	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)／(3)エ(イ)e(a)／(4)ウエ 第2-3(1)ウ	60-61	1
My Project 8	第2-2(1)イ(オ), ウ(イ), エ(オ)／(2)ア(ウ)場面b／(4)イ 第2-3(1)ウオキ	62-65	4
PROGRAM 7	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)／(2)ア(ア)(イ)／(3)エ(ウ)b／(4)イウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ 第3 123	66-71	6
POWER-UP⑤ Listening	第2-2(1)ア(ア)(イ)(オ), イ(ア)／(2)イ(ウ) 第2-3(1)ウ 第2-3(1)ウオ	72-73	1
PROGRAM 8	第2-2(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ), ウ(イ)(ウ), エ(イ)(ウ)(オ)／(2)ア(ア)(イ), (ウ)働きd／(3)エ(ウ)b／(4)イウ 第2-3(1)イウオキ／(2)アイウ 第3 123	74-79	6
POWER-UP⑥ Writing	第2-2(1)ウ(エ)／(2)ア(ウ)場面b, イ(ウ) 第2-3(1)キ 第2-3(1)ウオ	80-81	3
英語のしくみ 4	第2-2(1)ア(ア), イ(ア), エ(イ)／(4)ウエ 第2-3(1)ウ	82-83	1
PROGRAM 9	第2-2(1)ア(ア), イ(ア)(ウ), ウ(イ)(ウ)(オ) 第2-3(1)ウオ／(2)アイウ 第3 123	84-89	5
POWER-UP⑦ Listening	第2-2 (1)ア(ア)(イ)(オ), イ(ア), ウ(イ)／(2)イ(ウ) 第2-3(1)ウオ	90-91	2
Special Project	第2-2(1)ウ(イ), エ(ウ)(エ)／(2)ア(ウ)働きbd／(4)イ 第2-3(1)ウオキ	92-96	6
巻末資料③ クイックQ&A	第2-2(1)イ(エ)	116-117	-
巻末資料④ 英語のつづり字と発音	第2-2(3)ア(ア)／(4)ア	118-119	-
巻末資料⑤ 符号の使い方	第2-2(1)ウ(ア), エ(ア) 第2-2(3)(イ)	120	-
		合計	85

全学年

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> ・新出語 1年:528語 2年:420語 3年:299語 (総計:1,247語) ・連語及び慣用表現 	第2-2(3)ウ(ア)(イ)(ウ)	本文ページ 傍注及び脚注	-